

2023
新春号

朝日野総合病院 広報誌



「雪景色の草千里」阿蘇市（看護師 松下 竜太）

新年のご挨拶



野村 一俊
（整形外科）
病院長

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスとの戦いも四年目に入ろうとしています。この間、多くの医療機関、福祉施設でクラスターが発生し、その対応に追われました。当院でもコロナ院内クラスターが二回発生しました。

令和三年九月に発生したクラスターでは、幸い陽性患者様の接触病室だけで封じ込めが出来、転院された感染患者様も殆どが無症状、軽症で当院へ戻ってこられ、十月中旬より、一部制限していた診療を解除することが出来ました。この院内クラスターでは、複数回のPCR検査

理念

愛する人を安心して任せられる 病院の創造

基本方針

- 患者中心の医療の提供**
患者の権利を尊重し、インフォームド・コンセントを徹底することにより、相互の信頼関係の確立に努力する。
- 患者サービスの向上**
病院の居住性・機能性を高め、接遇等の改善を通じ、心身ともに快適な受診や療養生活が送れるよう配慮する。
- 救急医療の充実、医療水準の維持・向上**
救急医療の充実を図りつつ、24時間365日の医療を提供する。また各診療科の医療水準を向上させ、高度医療を維持・推進する。
- 予防医療の展開**
健診業務を積極的に行い、生活習慣病診療科及び脳卒中診療科、総合リハビリテーションセンター、他各機能の充実を図り、生活習慣の是正等を啓蒙し、発病予防へと繋ぐ医療を展開する。
- 医療安全の確保**
医療安全対策・院内感染防止等の管理体制を充実すると共に、職員の安全衛生意識の高揚を図り、事故の未然防止に努める。
- 地域連携の強化**
地域の保健・医療・福祉連携を強化し、公開講座などを通じ、地域住民が健康で豊かな生活を送られるよう支援する。
- 経営の健全化**
医療の質向上や患者サービスの充実には、安定した経営基盤が不可欠であり、適正な収益の確保、費用の節減、事業執行体制の強化など、効率的な経営努力を重ねていく。

査で陽性が判明した無症例もあつたことなどから、院内感染の水際対策の難しさを痛感させられました。

令和四年二月、入院患者様、職員の陽性が判明、PCRスクリーニング検査であつたという間に多数の入院患者様とスタッフに陽性者が判明致しました。

今回はオミクロン株の強い感染力と感染経路が不明なことが多かったこともありますが、前回のクラスター時の対応と違っていたことは、陽性患者様の転院隔離治療が出来ず、当院で隔離治療を行わざるを得なかったことでした。丁度、満床状態であり、病室毎の隔離には限界があり感染拡大へと繋がりました。最終的には、コロナ感染病棟を作り、動線を分離し、隔離、コロナの治療、原疾患の治療を固定スタッフで行い、三月中旬にやっと収束しました。クラスター発生時は、多くの患者様、医療機関、福祉施設に多大なご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。

現在、多くの規制・制限は解除され、社

会は「With コロナ」へと向かいつつありますが、第八波に於いても、多くの医療機関でクラスターが発生し、コロナとの激しい戦いが続いています。当院でも、これまでの経験を踏まえ、クラスター発生時に最小限の影響で乗り切つて行けるよう即応体制を整えています。

働き方改革が、医師に対して二〇二四年に適用されます。既にその適用体制に移りつつあり、影響が懸念されています。特に、医師の宿日直許可取得に伴う、時間外救急の制限は、これまで築き上げてきた熊本の救急医療体制への大きな影響が懸念されます。

これらの課題を乗り切るためには、これまで以上に地域の医療機関と連携し、地域の医療資源を十分に活用することが必要であり、その努力を続けております。

当院は、高齢社会の複雑化した医療ニーズに幅広く応えるべく急性期、回復期、維持期、緩和ケアの病棟を設置し、基幹病院、地域の医療機関、介護福祉施設と協力しながら、救急から在宅に至る幅広い医療を提供出来るように努めて参りました。

コロナ禍、医師の働き方改革への対応と課題は山積していますが、これからも基幹病院、地域の医療機関、介護福祉施設と連携し、当院が地域で果たすべき役割を追求し、医療の質の向上に努めて参ります。

今年も引き続き、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。



吸入薬を正しく使おう

薬剤科 薬剤師 永江 朋子

吸入薬とは、薬を口から吸い込んで、気管支や肺に直接作用させる薬です。飲み薬よりも少ない量で早く効き、全身への副作用が少ないという特徴があります。

吸入療法は、気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの病気の中心的な治療法です。吸入薬には、激しい咳や息苦しさなどの「発作を抑える」薬と「発作を予防する」薬の二種類があります。予防として処方されている吸入薬は発作症状がなくても、決められた回数を毎日継続して吸入することが大切です。

吸入薬はエアゾール式（霧状）とドライパウダー式（粉末）の二つに大別され、それぞれ長所・短所があります。また製剤ごとに使用前の手順や器材の特徴、使用回数など様々な違いが存在します。

昨今はこのように吸入薬の種類も豊富になり、より個人に合った吸入薬が選べるようになりました。その反面、複数の吸入薬を使用する際、吸入薬ごとに操作が異なり煩雑になるという欠点もあります。吸入薬は確実に吸入することで効果を発揮することが出来るため、正しい使い方を継続することが重要です。

有効で安全な吸入療法を行うため、当院薬剤科では薬をお渡しする際に、吸入薬の使い方や補助具の説明、実際に吸入手技の確認などを行なっています。初めて使用する方だけでなく、継続で使用

されている方も定期的に確認・支援できたりと考えています。

お薬お渡し窓口とは別にプライバシーを守った広いスペースを設けていますので、ご不明な点やご不安なこと等がありましたら、お気軽にお声かけください。



「石灯籠と斜光」阿蘇郡高森町(看護師 松下 竜太)

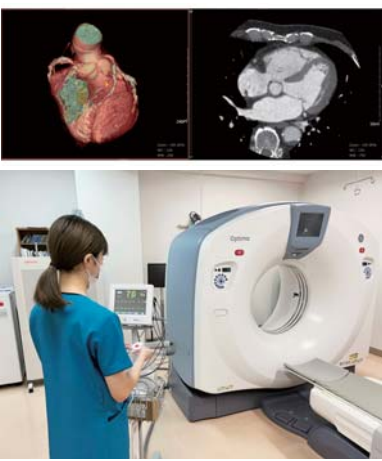
二年目の抱負

放射線科 診療放射線技師 手嶋 望夢

当院に入職して約一年が経ちました。放射線技師の業務は、X線撮影をはじめ、CT、MRI、X線透視、骨密度、マンモグラフィー等たくさんの方のモダリティを取り扱います。原理や操作方法がそれぞれ異なり、日々新しいことを覚えようと奮闘しています。

二年目の目標は心臓CTを撮影できるようになることです。心臓は不随意運動をしている為、意図的に動きを止めることができません。心電図と同期させ、患者様が長く息を止めている間に心臓の動きに合わせて撮影します。最大十五秒ほどの息止めが必要になるので、撮影前に練習を行います。また、その際に呼吸停止後の心拍数の変化を把握します。

適切なタイミングで心臓を撮影することで、安全かつ診断に有用性の高い画像を提供したいと考えています。



要介護者の入れ歯について

歯科 歯科医師 溝上 太郎

要介護者の方にとって、しっかりと噛める、機能する入れ歯とはどのようなものでしょうか？

専門書には、「機能する義歯とは、開口して食物を口腔内へ入れるまで外れず、咀嚼中に安定して大きく動かさず、たわまず、咬合力を適切に残存歯と粘膜に分散できる義歯である」と書いてあります。

分かりやすく言い換えますと、まずしっかりとついていることが大事です。大きく口を開けても、上の入れ歯が落ちることがない。下の入れ歯が浮き上がることがないことが大事です。

そして、噛んだときに入れ歯が動かないことです。噛むたびに動くようだと、歯茎が擦れて痛みが出たりします。また、入れ歯が動くことでバネを引っ掛けている歯が揺さぶられ、その歯がダメになつてしまいます。

他には、口唇、頬、舌などの筋肉と調和の取れた形になっていることが大事です。調和の取れた形になっていないと、口唇、頬、舌を噛んでしまったり、喋りにくい、嚥下しにくい等の状態になってしまいます。

食事における咀嚼を観察（ミールラウン）することで入れ歯が合っているか、問題点を見つけて出すことができます。入れ歯の問題だけでなく、口腔機



能低下症や、嚥下障害の問題である場合もあります。

いずれにしても、入れ歯は、咀嚼、嚥下、発音など様々なことと深く関係しているため、合った入れ歯を使うことはとても大事です。

入れ歯の平均寿命は四年から五年と言われています。ごく稀に十年以上使用しているという方もいますが、医学的にも三年から五年ごとに新品にするのが一般的です。

長期間使用すると問題が出てきます。歯茎が痩せてくることで、入れ歯が動きやすく、外れやすくなり、又、人工の歯がすり減り、噛み切りにくくなるといった症状です。こうした状態で無理に使用すると歯茎や残った歯に悪影響を及ぼします。

きちんと合った入れ歯を使うことで、しっかりと栄養補給ができます。さらに口腔周囲の筋肉をしっかりと使うことが出来、筋肉量の維持や廃用性変化（使われない組織が衰えること）を防止することができます。



「阿蘇の雪景色」阿蘇市（理学療法士 吉本 大佑）

干し芋派・焼き芋派

栄養科 調理師リーダー 西澤 有紀

ここ数年、コンビニやスーパーで多くなってきた干し芋、焼き芋についてご紹介したいと思います。

干し芋とは、蒸したサツマイモを薄く切って乾燥させた食品で、乾燥いも、甘藷切干（かんしょきりぼし）等とも呼ばれます。薄切りの他に、丸干しや棒状に切ったものもあります。栄養面では、コレステロールは含まれず、整腸作用のある食物繊維を多く含んでいます。ビタミンB1や、ビタミンC、カリウムにも富んでいます。アルカリ性食品に分類されることも、健康に良い根拠として挙がる場合があります。

食べ方は、そのままでも良いのですが、トースターや炭火で軽く炙って食べると美味しいです。干し芋の焼き方については、オーブンや電子レンジ、ストーブの直熱などで温める方法があります。

焼き芋とは、かまど焼き、壺焼き、石焼き、ドラム缶、電気オーブンなどで焼いたものを言います。主に焼き芋の甘みは、サツマイモ中のデンプンが、β-アミラーゼの作用により分解された麦芽糖に由来します。また、サツマ



イモの品種によっては、ホクホクしたものや、しっとりとしたもの、ねっとりしたものがあります。

私は、焼き芋はホクホクしたものが好きですが、干し芋は苦手です。皆さんはどちらがお好みでしょうか？また、火災には充分注意しましょう。

寒い冬に温かい物を食べて、元気に過ごしましょう。



「凍る池」阿蘇市（看護師 松下 竜太）

第6回緩和ケア研修会を終えて

11月4日(金)、緩和ケア研修会を開催しました。今年もコロナ禍のため、WEB研修会となりましたが、院内外から106名の参加がありました。

当院からは永野桂子(薬剤師)より「緩和ケア病棟における薬剤師の役割」について発表があり、担当薬剤師としての活動内容・医療用麻薬の取り扱いについて等の報告がありました。

特別講演は国立病院機構熊本医療センター主任心理療法士の濱野学先生をお招きし、「緩和ケアにまつわる『こころ』に思うこと」をテーマにお話して頂きました。病気による不安・不眠・食欲低下・抑うつ等、このような時に心のケアが必要となり、心理療法士のサポートは重要です。

講演では、①熊本医療センターでの役割②心理的



北8病棟 看護師長 宮崎 ともみ

援助が必要な患者様への対応について学ぶことが出来ました。また、患者様の話を丁寧によく聴く(傾聴)、気持ちを理解しよう



とする(共感)、無理せずペースを合わせる等、とても大切な基本を振り返る機会となりました。

質疑応答では、緩和ケア病棟看護師からの「不安や苦痛を表出しない患者様への対応方法について知りたい」という質問に熱心に答えて頂き、現場で実践に繋げることが出来ました。研修終了後のアンケートでは「大変参考になった。」「大変興味深く聞く事が出来た。」という意見が多くありました。

次回に聞きたいテーマとしては、症例報告やグリーンケア、連携についてと希望がありましたので、今後も皆様のご意見を参考に、意義ある取組を進めて参りたいと存じます。

「第6回 朝日野総合病院 緩和ケア研修会」を開催しました

事務部 庶務課 係長 今村 幸代

昨年に続いて2回目のオンラインでの緩和ケア研修会を開催致しました。

まずは、当院の緩和ケア病棟の動画を“緩和ケア病棟師長 宮崎ともみ”より紹介させて頂きました。この動画は、コロナ禍で病棟見学などが難しい状況になった為、少しでも当院の緩和ケア病棟の雰囲気をお伝えすることが出来るようにと、スタッフが作成したものです。

続いて、“薬剤科 薬剤師 主任 永野桂子”より、「当院の緩和ケア病棟での薬剤師の活動について」を報告致しました。症状緩和に薬剤は無くしてはならないものです。「薬剤師が如何に患者様に寄り添うケアを提供できるか」について実際の関わり方、また今後の課題を含めて説明致しました。緩和ケアチーム



のメンバーの一員として多職種と連携を取りながら、患者様お一人、おひとりに合わせた介入をしています。

最後に、“国立病院機構 熊本医療センター 主任心理療法士 濱野 学先生”より特別講演「緩和ケアにまつわる『こころ』に思うこと」をご講演頂きました。「患者さんのこころ」、「医療者のこころ」、両方の観点からのご講話

で、『こころ』という見えないものを分かってもらうことに挑むこと、また自身のこころの状態を認識することなど、詳しくご説明頂きました。ご講話の中での「医療者だって『ひと』である」というお言葉にスッと気持ちが軽くなる瞬間を感じさせて頂きました。複数の事前質問やライブでの質問へも丁寧にご回答頂き、講演終了後もスタッフからの質問に快く応じてくださり、大変実りある研修会となりました。

音声トラブルでお聞き苦しい点もあったかと思いますが、100名を超えるご参加を頂きました事、誠にありがとうございました。

参集して研修を行う事が困難な時勢ではございますが、様々な形式でまた是非皆様と緩和ケアについて学ぶ機会を得たいと考えております。

当院では、今後も皆様に信頼される緩和ケアを目指して参りたいと存じます。



メディカルフィットネス サンフィット朝日野

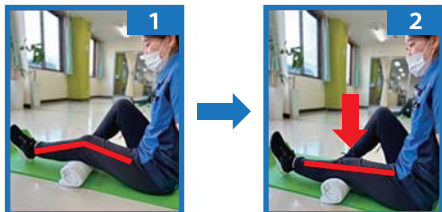
サンフィット朝日野は疾病予防・再発予防・健康寿命の延伸をコンセプトとし、地域のヘルスケア充実に努めています。運動の専門家をご利用者一人一人の健康状態に合わせたオーダーメイドのプログラムを提供しており、持病のある方も多くご利用されています。

病院併設の安心した環境で自分だけのトレーニングができる『サンフィット朝日野』で運動を始めてみませんか？ 無料施設見学・各種体験などご用意しております。ぜひお気軽にご相談ください。お待ちしております！



病气やケガで運動を諦めてしまっていないですか？
私たち専門スタッフにお任せ下さい！

前側の太もも



- ① バスタオルを丸め、片方の膝の下に入れます。
- ② 膝を伸ばして、膝裏でタオルを押し潰すように力を入れます(約5秒間)。
- ③ 左右各10回を1セットとして、1日3セット行います。

お尻・太もも



- ① 足幅を肩幅より広めに、つま先は30度ほど外側に向けて立ちます。
- ② 5秒程かけてゆっくりしゃがみ、5秒程かけてゆっくり立ちます。
- ③ ②の動作を10～15回を1セットとして、1日3セット行います。

膝関節痛改善エクササイズ

ポイント 膝がつま先より前に出ないように注意！
お尻を後ろに突き出すようにしゃがむ。

「朝日野総合病院 公開講座」中止のお知らせ

いつも公開講座にご参加頂き、誠にありがとうございます。
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、院内感染防止の為、令和5年1月の「公開講座」はやむを得ず中止とさせていただきます。
楽しみにされていた皆様には多大なご迷惑をお掛け致しますが、ご理解の程何卒よろしくお願い致します。
次回の公開講座開催日は、状況が落ち着き次第お知らせいたします。

事務部 庶務課 今村



「チーム医療に関すること」：薬剤科



病院長代理
清水 治樹

(脳卒中診療科)

医療界では近年、「チーム医療」と言う単語がよく使われます。医学が進歩し診断方法や治療法が拡充する中で、医師だけの判断とスキルで診療を行うのではなく、医業に携わる多職種が連携し効率的な医療を提供することが望まれるようになったのです。今回は薬剤科について記します。

政府が勧めた「医薬分業」の旗印のもと、病院・病院と薬局とが分離されている医療機関が多いと思いますが、当院は院内に薬局があります。診療を行った医療機関で処方箋をもらい、同じ医療機関の薬局で薬をもらうのが院内処方。受け取った処方箋を別の薬局で受け取るのが院外薬局です。

どちらにもメリット、デメリットがあると思いますが、個人的には院内薬局は非常に有り難いと感じています。患者様にしても、いったん病院の外に出て薬をもらいに行くのは手間がかかり大変ではないでしょうか(足腰が弱い方は特に。天候が悪ければなおさらです)。

外来での例。処方を出した後に薬局

から「薬の投与数が違います」、「薬の組み合わせがイケマセン」、「患者さんが湿布を頼んだと言われています」などの電話があり、こちらのミスをカバーして貰い助かったこともしばしばです。対応が非常にスピーディー。これが院外薬局なら、こうはいきません。

院内で入院患者様に各種の点滴を行う場合、年齢や体重、腎機能や肝機能を考慮し、適切な投与量を調べてもらうことがあります。服薬指導も積極的に行っていきますが、入院中は十分にその時間が取れます。また、薬剤師も病院で働いていると電子カルテを通じて薬物投与の「手ごたえ」が実感出来るでしょう。

院外薬局のメリットとして、個々の患者様が「かかりつけ薬局」を持って、薬の重複や禁忌が防げると挙げられますが、それは院内薬局でも可能な事です。むしろ、「かかりつけ薬局」が複数の医療機関の中から特定の病院・病院を選び「その薬は中止してください」と提言出来るのかは疑問です。

以前に薬の多重服用(ポリファーマシー)について記しましたが、この課題の解消が可能であるのは、患者様が入院した際に無駄な薬を極力整理し、退院時に各医療院・病院の医師に情報提供として連絡することではないかと思っています。

当院の薬剤師二十余名、優秀な人材が多く非常に勤勉で、大いに頼りにしています。「医薬分業」ではなく、「医薬協(共)業」。医師と薬剤師、ともに学んでいける環境を創ることが、患者様の利益になると信じます。

お野菜を食べましょう!

健診センター 保健師 清永 紗代

いよいよ新年!2023年がスタートしました。お正月、ついつい食べ過ぎ飲み過ぎで体重が増えてしまった、という方はいらっしゃいませんか。寒い冬は体が冷えやすいため、色々なものを溜め込みがちです。過去に特定保健指導を受けたことのある方も、「イヤイヤ自分は絶対に大丈夫」だと思っている方も、健康管理には充分気を付けましょう。

ここでちょっと特定保健指導のご案内を。協会けんぽご加入の40歳以上75歳未満のうち、腹囲・BMI・血圧・血糖・脂質のいずれかの検査値が規定値以上になってしまったら、特定保健指導の対象となります。当院の健診センターでは、ご本人了承のもと、健診当日に行っています。なお、当院以外で特定健診を受診された方も受診券や案内書面をお持ちでしたら、当院の健診センターで特定保健指導を受けることができます。

さて、特定保健指導の場で、「お野菜を食べることは大事だとはわかっているけれど、1日350グラム以上も食べるのって難しい」というお声をよくお聞きします。お野菜は生で食べるだけでなく、調理法や食べ方を工夫することで無理なく摂取できます。スープやおひたし、温野菜、煮物、どのお料理も美味しいのですが、寒い今のこの季節には、お野菜たっぷり

の鍋料理がおすすめです。

お野菜は、そのもの本来のうま味を利用することで、調味料の量を加減できるので、減塩につながります。また、食事の順序も大切です。炭水化物より先にお野菜をよく噛んで食べれば、お野菜に含まれている食物繊維が糖分の吸収を穏やかにして、血糖値の急激な上昇を防いでくれます。

お野菜に含まれている栄養素は、体の調子を整えるのは勿論のこと、循環器疾患やがん等の生活習慣病を予防する働きがあるとされています。お野菜をたくさん食べて、健康な体を維持しましょう。



「花岡山から望む朝陽」熊本市(看護師 松下 竜太)

朝日野総合病院 外来担当医表 令和5年1月現在

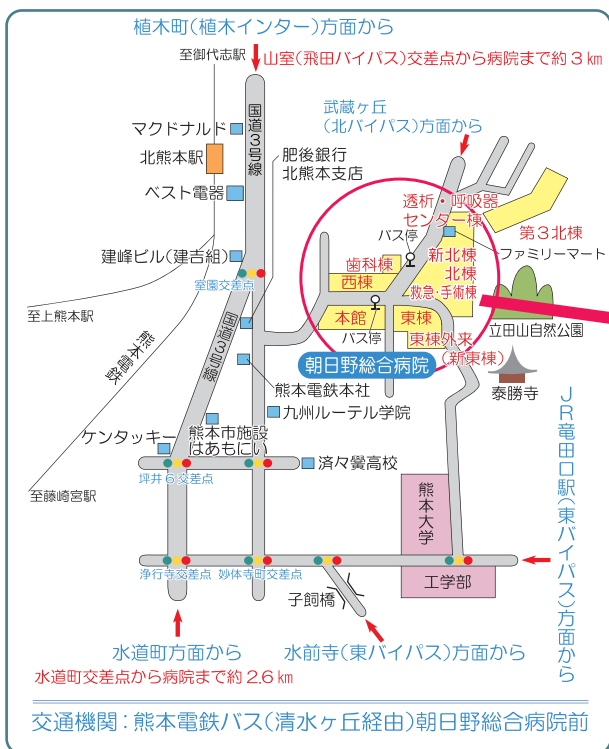
救急外来: 救急患者は24時間・365日

※都合により担当医が変更となる場合がございます。

| 施設 | 診療科目 | 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | |
|------------------------|--|----------------------|---|---|---|--|--|--|---------------|
| 救急・手術棟 | 一般外科 消化器外科 血管外科 呼吸器外科 総合診療科 肛門外科 乳腺・内分泌外科 | 午前 | 土井口 幸 河野一朗 (片瀨 茂) (柴田 浩) | 片瀨 茂 柴田 浩(総合診療科) (土井口 幸) (河野一朗) | 土井口 幸 河野一朗 柴田 浩(内視鏡検査) | 片瀨 茂 (総合診療科) (土井口 幸) (河野一朗) | 片瀨 茂 河野一朗 (土井口 幸) (柴田 浩) | 【午前外科外来】 土井口 幸 柴田 浩(第1・3) 芹川和志(第3) 【午前内科外来】 第13 担当医 第2 上野満徳(熊大血内) 第4-5 中村朋文(熊大血内) | |
| | | 午後 | ※手術日 土井口 幸 河野一朗 (柴田 浩) | 片瀨 茂 土井口 幸 (河野一朗) (柴田 浩) | ※手術日 土井口 幸 河野一朗 (柴田 浩) | 片瀨 茂 (河野一朗) (柴田 浩) | | | |
| | 形成外科 皮膚科 | 午前 | 原田美穂 | ※手術日 | 原田美穂 | 原田美穂(第1・3) | 原田美穂 | | |
| | 皮膚科 | 午前 | | 持永詠子 | | 持永詠子(第1・3・5) | | | |
| | 脳卒中診療科 | 午前 | 清水治樹 | 清水治樹 | 清水治樹 | 清水治樹 | 清水治樹 | | |
| | 緩和ケア外来 ※原則予約制 | 午後 | | 片瀨 茂 | | | | | |
| | 小児ハビリテーション科 | 午前 | | | | 清水治樹 | | | |
| | 麻酔科 | 午前 | 河野一朗 | 河野一朗 清水直子 東 兼充(PM) | 河野一朗 清水直子 | 河野一朗 清水直子 東 兼充(PM) | 河野一朗 清水直子 | 河野一朗 清水直子 | |
| 午後 | | 清水直子 | | | | | | | |
| 東棟外来 | 整形外科 | 午前 | 前川清継 岡元 勉 辻 王成 (野村一俊) (堀 友宏) | 前川清継 岡元 勉 (野村一俊) (堀 友宏) | 野村一俊 辻 王成 堀 友宏 (岡元 勉) | 前川清継 岡元 勉 堀 友宏 (辻 王成) | 野村一俊 辻 王成 堀 友宏 (岡元 勉) | 岡元 勉 堀 友宏 | |
| | | 午後 | ※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏) | ※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏) | ※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏) | ※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏) | ※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏) | | |
| | 骨粗鬆症外来 ※完全予約制 | 午前 | | 辻 王成 | | | | | |
| | ペインクリニック内科 | 午前 | 清水直子 | | 清水直子 | 大津哲郎 | 清水直子 | | |
| | 脳神経外科 | 午前 | | 熊大脳神経外科 (第1・3・5) | | | | 久留米大脳外 | |
| 本館 | 一般内科 呼吸器内科 総合内科 リウマチ内科 血液内科 循環器内科 神経内科 心療内科 | 午前 | 清川哲志 伊藤清隆 新堀俊文 千住みどり (島津和泰) (緒方康博) | 木山程荘 島津和泰 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (伊藤清隆) (新堀俊文) | 木山程荘 清川哲志 依明恵(熊大神経内科) 第1・3 上野満徳(熊大血内) 豊福尚旦(循環器内科) (伊藤清隆) (新堀俊文) | 清川哲志 新堀俊文 千住みどり (伊藤清隆) (島津和泰) | 伊藤清隆 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (島津和泰) (新堀俊文) | 「救急・手術棟」 にて診療 | |
| | | 午後 | 島津和泰 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (伊藤清隆) (新堀俊文) | 新堀俊文 緒方康博 (清川哲志) (伊藤清隆) (島津和泰) | 伊藤清隆 (清川哲志) (新堀俊文) | 島津和泰 千住みどり (清川哲志) (新堀俊文) | 木山程荘 緒方康博 (清川哲志) (伊藤清隆) (島津和泰) (新堀俊文) | | |
| | 腎臓内科 | 午前 | 古閑博子 | 伊東磁郎 | | 伊東磁郎 | 古閑博子 | | |
| | 東棟 | 放射線科 | 午前 午後 | 村上 稔 | 村上 稔 | 村上 稔 | 村上 稔 | 村上 稔 | 村上 稔 |
| | | リハビリテーション科 | 午前 午後 | 担当医 | 担当医 | 担当医 | 担当医 | 担当医 | 担当医 |
| | 西棟 | 糖尿病・代謝内科 | 午前 午後 | 加生雅也 | 加生雅也 | 加生雅也 | 加生雅也 | 加生雅也 | |
| | | | 耳鼻咽喉科 | 午前 午後 | 湯本英二 | 湯本英二 菅村真由美 | 菅村真由美 | 湯本英二 菅村真由美 | 湯本英二 菅村真由美 |
| 乳腺外科 嚥下外来 ※完全予約制 | | 午前 午後 | 後藤理沙 | | | | 湯本英二 菅村真由美 | | |
| 眼科 | | 午前 午後 | 行徳泰宏 | 行徳泰宏 | 行徳泰宏 | 行徳泰宏 | 行徳泰宏 | 行徳泰宏 | |
| 泌尿器科 (皮膚科) | | 午前 | 川畑幸嗣(泌) | | 川畑幸嗣(泌) | | 川畑幸嗣(泌) | 川畑幸嗣(泌) | |
| | | 午後 | | 川畑幸嗣(泌) | 江口善孝(泌・皮) | 川畑幸嗣(泌) | 江口善孝(泌・皮) | | |
| 婦人科 ※婦人科外来は当面休診 | | 午前 | | 担当医 検診のみ(完全予約制) | | 担当医 検診のみ(完全予約制) | | 熊大婦人科 検診のみ(完全予約制) | |
| 健診センター | 午前 | 近藤圭一郎 西村龍一 | 近藤圭一郎 | 近藤圭一郎 緒方さつき | 近藤圭一郎 菅 正康 | 近藤圭一郎 緒方さつき | 担当医 | | |
| 透析 センター | 午前 午後 | 伊東磁郎 古閑博子 木脇祐聡 | 川畑幸嗣 | 伊東磁郎 古閑博子 | 川畑幸嗣 | 伊東磁郎 古閑博子 | 川畑幸嗣 熊大泌尿器科医師(第1) 盛 三千孝(第2・4) 出口隆志(第3・5) | | |
| 北棟 | 温熱療法 高気圧酸素療法 ※完全予約制 | 午前 午後 | 川畑幸嗣 | 川畑幸嗣 | 川畑幸嗣 | 川畑幸嗣 | 川畑幸嗣 | | |
| 歯科棟 | 歯小児歯科 歯科口腔外科 (インプラント治療) | 午前 午後 | 酒匂賢一 溝上太郎 | 酒匂賢一 溝上太郎 竹下尚志(熊大歯科 口腔外) | 酒匂賢一 溝上太郎 | 酒匂賢一 溝上太郎 | 酒匂賢一 溝上太郎 | 溝上太郎 中嶋 光 (第1・3・5) (熊大歯科) 松岡祐一郎(口腔外) (第2・4) | |

○ 診療時間：月～金 9:00～12:30 13:30～17:30 土 9:00～12:30 ※ () は特別診療 ※ 赤字は女性医師
 (歯科：月～金 9:00～13:00 14:00～18:00 土 9:00～13:00) (外来リハビリ：月～金 9:00～13:00 14:00～17:30 土 9:00～12:30)
 専門外来担当医：甲状腺外来(月・金 午前) 河野一朗, 脳卒中外来(月～金 午前) 清水治樹
 女性専門外来・ストレス外来(男女)(月・木 午後) 千住みどり

朝日野総合病院への行き方及び駐車場のご案内



健診センターのご案内

健診センター長
近藤 圭一郎

西棟 2階の健診センターでは、皆様の健康管理のお手伝いをしています。是非ご利用下さい!

健診コース

- ・人間ドック(宿泊コース・日帰りコース・心血管病コース)
- ・生活習慣病予防健診
- ・定期健康診断
- ・一般健診
- ・**特定健康診査、特定保健指導** ※各種オプション検査、診断書発行等も行っております。
- ・乳がん・子宮がん検診
- ・胸部CT検査・頭部MRI検査

月曜～金曜 午前 8:00～12:00
午後 13:30～17:30
土曜日 午前 8:00～12:00

ご予約・お問合せ先

TEL 096-341-5075 (直通)
担当/臼杵 お気軽にお問合せ下さい。

医療法人 朝日野会 朝日野総合病院

救急告示指定(二次) 病院長 野村一俊 名誉院長 前川清継
国土交通省 病院長代理 清水治樹 常任顧問 湯本英二
短期入院協力病院 院長補佐 片刈茂・清川哲志・伊藤清隆・土井口幸
※曜日毎の担当医などの詳細は7ページをご参照下さい

病床数378床

駐車場650台

〒861-8072 熊本市北区室園町12番10号

TEL.096-344-3000

FAX.096-343-7570

https://www.asahino.or.jp/ 朝日野会 検索

患者様の人格が尊重され、より良い医療が提供されるよう、私たちは以下の権利と責務を患者の皆様が有することを確認します。

患者様は、身分、年齢、性別、障害の有無などにかかわらず良質な医療を適切かつ公平に受ける権利があります。

患者様は、人格を尊重され、個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

患者様は、診療について、分かりやすく十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。

患者様は、治療計画を理解し、自己の意思で選択し決定する権利があります。

患者様は、診療に必要な自身の健康状態を正確に医療提供者に伝える責務があります。

患者様は、良い医療環境を共有するため、病院の規則を守る責務があります。

あとがき
編集委員

新春のお喜びを申し上げます。早いもので邦暦では令和になり5回目の新春となりました。平成の時代が懐かしく思われる今日この頃です。新年を迎え楽しく生活するためには健康が第一です。食生活・軽い運動を含め、生活の在り方を見直すには絶好の機会だと思います。先ずは手始めに自宅の周りを散歩するのは如何でしょうか? 新たなものを発見し、又多くのことに気付き、生活するうえで更にメリハリも出てくるのではないのでしょうか? 新年を迎え、新たな自分を探し出していきます! (Y.S)

発行日/令和5年1月1日
発行責任者/野村一俊
編集委員/清水陽行・紫垣佳孝
発行所/朝日野総合病院
印刷所/(株)みどり印刷社